

新たな実証実験テーマ設定型 募集内容

テーマ	No.4 個別指導計画作成支援ソフトの導入
主旨	文部科学省のガイドラインに基づき、特別な教育的支援が必要な児童・生徒には個別指導計画(IEP)の作成が求められているが、現状は紙やExcelで作成しており教員の負担が大きく、特別支援教育や合理的配慮に関する知識や経験が十分でない教員も多いため、質のばらつきが課題となっている。個別指導計画作成支援ソフトの導入により、事務負担軽減(働き方改革)と教育の質向上(個別最適な学び)を目指す。また、ソフト導入後の活用方法など、運用面での整理も含めて実証する。
募集内容の詳細	<ul style="list-style-type: none"> ・特別支援学級、特別支援教室(すまいるルーム)を利用する児童・生徒だけでなく、通常の学級に在籍する支援が必要な児童・生徒についても、教員による適切な実態把握(アセスメント)や児童・生徒の理解、個別指導計画の作成の支援等ができるソフトを導入し、効果及び運用方法を検証する。 ・ソフトの提供だけでなく、教員等がツールを効果的に活用できるよう、官公庁での実証実績や導入実績に基づき、運用支援・伴走支援についても提案すること。 ・ソフトの導入にあたっては、世田谷区の共通基盤やネットワーク環境に準拠すること。 ・個別指導計画は年度当初に作成を行う必要があるため、4月中のできるだけ早い時期から実証を開始できること。 ・実証実験では複数の提案(=ソフト)を採用し、提案を比較検討する可能性がある。複数の提案を採用する場合、採用した提案全体で区の負担額(100万円)を超えない範囲で実証を行う。 ・複数の提案を採用した場合、合計10校程度を提案数に応じて按分して実証導入し、現場での活用状況や効果を検証することを想定。
関連する区の既存事業	特になし
期待する効果	<p>以下の項目から1つ以上にチェックしてください。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 区民サービスの向上 <input checked="" type="checkbox"/> 事務の改善・効率化 <input type="checkbox"/> 財源や人材など経営資源の最適化・効率化</p> <p>インクルーシブ教育を推進するためには、児童・生徒の特性を教員が組織的に把握し、それに基づいた最適な学校生活支援シート(個別の教育支援計画)や個別指導計画(個別の指導計画)を策定し、計画に沿った支援を実行できる校内体制を整備する必要がある。個別指導計画作成支援ソフトを活用することで、知識や経験が十分ではない教員でも、計画の作成に係る事務負担を軽減し(働き方改革)、児童・生徒へのより質の高い指導・支援により教育の質的向上を図る(個別最適な学びの促進)ことを目的とする。</p>
実施予定時期	実証期間:令和8年4月～令和9年3月 令和9年度以降の全校展開を見据えて実証実験を行う。
担当部署	学校教育部 教育指導課 指導管理係